

平林金属ク決勝下へ闘志

ソフト男子西日本
あすから後半戦

ソフトボール男子の西日本リーグは6、7日に高知市である第3節から後半戦に入り、2位の好位置につける平林金属ク(岡山市)は4連戦に臨む。上位勢との対戦が続く重要な節で、3年連続の決勝トーナメント(11月15、16日・愛知県)進出へ最初のヤマ場を迎えた。

(同勝敗の順位は直接対決の成績による)

順位	チーム	勝	敗	勝率
1	大阪桃太郎	8	1	.889
2	平林金属ク	8	3	.727
3	旭化成	6	4	.600
4	ダイワ	6	4	.600
5	N.E.ウエス	5	5	.500
6	愛媛県	4	6	.400
7	高知P.W.	3	7	.300
8	シエル福岡	3	7	.300
9	オース	0	8	.000

9チームが2回戦総当たりで争うリーグで、平林金属クはここまで首位大阪桃太郎と並ぶ8勝(1敗)を挙げており、直接対決の成績により2位。好調の要因は終盤の粘りにある。逆転勝ちが4試合に上り、2度の延長タイブレークでは負けなし。1試合平均で6・7点をたたき出しており、木谷、谷口らが集中打で劣勢をはね返す展開が目立つ。

課題は松田投手陣にありそう。先制点を奪われたのは5試合で、7月の全日本クラブ選手権でも格下相手に乱打戦を強いられ、1回戦敗退に終



後半戦に向け守備の連携を確認する平林金属クの選手たち=HIRAKINライズ球場

わった。「配球などバツるものの、今節の相手はテリに工夫が必要」と吉村監督は指摘し、修正を図ってリーグ残り7試合を戦い抜く。東西両リーグの上位4チームによる決勝トーナメント進出の目安は例年10勝。あと2勝に迫る。2年ぶりの優勝を狙う。

全日本総合選手権(2022日・愛知県)、平林金属ク主体の県選抜で臨む長崎国体(10月18、20日)を控えており、主将の木谷は「全員で勝つのがヒラキンのスタイル。今節は最低でも勝ち越し、全日本総合、国体のタイトル獲得につなげたい」と表情を引き締める。6、7日は女子2部アドバンス第4節も滋賀県で開催され、2勝8敗で6位の平林金属は5位日本精工、7位日本ワエルネスと対戦する。(村上達也)

2014年9月5日(金)の山陽新聞朝刊で記事が紹介されました
(山陽新聞社より転載許可承諾済)